

会議の概要

令和5年度 第7回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和5年12月12日（火）18:30～20:30

場 所：改善センター 全体協議：多目的ホール（1階）

グループ協議：幼稚園 多目的ホール

大山小 農事研修室（2階）

玉井小 農事相談室（〃）

大玉中 健康相談室（1階）

（進行 指導主事 渡邊 博樹）

1 開会のことば （コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

みなさん、こんばんは。これより令和5年度第7回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会）を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、こんばんは。年末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日の委員会も中身が盛りだくさんになってしまったのですが、中心となりますのは3つ目の各園・各校の次年度の学校運営方針に対してご意見をいただくことだと捉えております。学校運営協議会の3つの権限・役割の一つである「学校運営基本方針の承認」は、3つの権限の中で唯一必須となるものでありまして、年度末に1回だけ説明して、それで済むというものではありません。逆にそういう形でやってしまうと、学校運営協議会の意見が反映されずに最終的に不承認となって次年度がスタートするという話になりかねないわけなのですが、実際にそういった例はないわけです。

と申しますのは、あらかじめ今日のような機会を設けて準備をして、それを次に生かしていくというルールになっているからだと思います。そういった意味でも、今日の委員会というのは年間で最も大きな会だというふうに捉えることができると思います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （CS委員会会長 矢吹 吉信）

皆さん、改めましてお晩でございます。

本日は、年末の一番お忙しい中おいでいただきまして本当にありがとうございます。また、本日

は杉田地区の方に来ていただいております。「CS委員会とはどういうものなのか」ということで、見学したいということでありましたので、ぜひ「大玉のCS委員会はこんなことをやっているんだ」というところを見て持ち帰っていただき、杉田地区の教育に生かしていただければと思っております。本日はよろしくお願いいたします。

只今教育長からも話がありましたが、本日は結構な内容のスケジュールとなっております。時間も限られておりますので、あいさつは短かめに終わりたいと思います。今日は、楽しく熟議をたくさんしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

4 諸連絡

○ 本日の日程と内容について説明

- ① おおたま・オータム・フェスタアンケート集計結果報告
- ② 第5回おおたまコミュニティ広場について（全体）
- ③ 令和6年度各園・各校の幼稚園・学校運営方針についての熟議（各校・園毎→全体）

5 協 議

（座長 CS委員会会長 矢吹 吉信）

（1）おおたま・オータム・フェスタアンケート結果報告 （指導主事 渡邊 博樹）

- ① 参加者アンケートの結果について
 - ② 小・中学生のアンケート紹介（記述〈活動別〉）
 - ③ 次年度の方向性（変更点）について
- } ～ 略 ～
- 校長会でも反省会をし来年度の方向性を話し合った。
 - 来年度は平日の分散開催としたいと考えている。土曜日実施ではなく平日となる。
 - スクールバスをたくさん使えば、全ての活動を別日に分散して実施することが可能となる。
 - 活動の中身は例年通り（安達太良登山、大名倉山登山、オリエンテーリング、昔遊び・グラウンドゴルフ、ミニ運動会、スポーツ交流）で、予備日は別々に設ける。（現在学校園で調整中）
 - 「オータム・フェスタ」とあるが、必ず秋にやるということではない。別日実施となるので名称についても変更を兼ねてアンケート調査を行っている段階である。
 - CS委員の方々 … 今までは土曜日だったが、次年度は平日開催となる。ご協力いただける方はよろしくお願いいたします。

（座長）今アンケートの内容と変更点について説明がありました。アンケートを見ますと、いろんな意見がございます。今年は特に天候に左右された部分がありまして、先生方から厳しい意見等がございます。それを考慮しまして、来年度は平日の分散開催ということで今話がありましたが、皆さんから何かございましたらお願いします。非常に目的とか趣旨はいいということなので、私も平日にやるのがいいのかなと最近思っていました。（今年のように）天候に左右されてできないところがあったりしたので、一番いい改善点なのかなというところがあります。皆さん、CSの立場でいかがでしょうか。

（CS委員）・・・特にない様子・・・

（座長）この後の熟議の中で関連する話がでましたら、また戻ってきてからでも構いませんのでご意見をお出してください。ご意見をいただきながら、一番いい方法で次年度開催ということでいいと思います。皆さんのお知恵をお借りしながら活動ができればいいと思います。もし後で何かあれば声をかけてください。

（2）第5回コミュニティ広場（第15回大玉村教育フォーラム）について

（座長）それでは、「（2）第5回おおたまコミュニティ広場（第15回大玉村教育フォーラム）について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

① 事務局案の説明 （渡邊指導主事）

ア 第5回コミュニティ広場（第15回教育フォーラム）開催計画（案）の説明

- 日 時：令和6年2月17日（土）9：00～11：30 於 改善センター
- 参加者を限定しない。（地域住民を含める。130名程度になる模様）
 - ・地域住民を限定しない。
- 第1部「伝えよう！大玉村の魅力と未来」小・中学生の発表
 - ・村内在住者に発表の様子をライブ配信する。（『広報おおたま1月号』に配信QRコードを掲載）
 - ・小・中学生の発表は2月17日の発表終了後から2月29日まで再度配信する。
- 第2部「SNSなどの利用を自分でコントロールし、デジタル時代のよき使い手となるためにはどうしたらよいだろうか」フリートーク
 - ・第1部のテーマととはつながりをもたせない。
 - ・子どもたちの生活の課題の現状を知るとともに、その解決に向けて様々な取組を一緒に考える。
 - ・情報モラルの観点とデジタル化社会の推進の観点から、どのように子どもたちに指導し、上手に活用するかを考える。
 - ・地域とつながりのある活動の充実に向けて、地域や企業、保護者が子どもたちや学校と一緒にやってみたいことや、子どもたちや学校が地域や企業、保護者と一緒にやってみたいこと等について意見交流を図る。
- 役割分担 ～ 略 ～ ○ 会場図 ～ 略 ～
- 「教育フォーラム」という名称について
 - ・教育フォーラムは、基本的に広報・啓発の目的を持つものだが、コミュニティ広場の目的にその目的が入っていない。「第15回大玉村教育フォーラム」を外してもいいのではないかと。ご協議いただきたい。

② 質疑応答

（座 長）只今事務局より説明がありました。コロナも5類になったということで、今年は人数制限をしなくてもいいのかということで確認させていただきたいと思います。

（CS委員）・・・賛同・・・

（座 長）大丈夫ですかね。多くの方に集まっていただいて開催するのがいいのかなと思っています。そうすると130人ぐらいになりますか。

（渡邊指導主事）例年（コロナ前）住民の方々にも希望をとって来ていただいていた経緯があるのですが、だいたい5名前後の参加という話を聞いていました。そうすると約130名という数字になります。

（座 長）皆さんからご意見がありましたらお願いします。第1部は児童・生徒の発表で、第2部はSNSについて話し合うということになっていますが…。「教育フォーラム」という名称についてはいかがでしょうか。毎年「どうなのかな」と思いながら、歴史があるので迷うところではありますが、いかがでしょうか。



(渡邊指導主事) 伝統があるということからすると、第15回というのは重みがあるのかなと思います。ただ、フォーラムというのは啓発、広報が目的なので、若干趣旨が違うところがあります。両方を含めてやっていくということで、このままにしておくという考え方もあります。

(座 長) 私はこだわりがなくて、どちらでもいいと思いますが、当日実際に開会の言葉を話す吉田副会長さんは長くて言いにくいとは思いますが…。

(吉田副会長) 堅苦しいような感じはしていますが…。

(座 長) 以前の教育フォーラムでは、著名な先生などに来ていただいて講話を聴くだけのこともありました。それがコミュニティ広場になって、皆で参加して、子どもたちの話を聞いたりするようになった経緯があります。そうすると、今皆で楽しく柔らかにやっているの、なくしましょうか？

(岡 委 員) 質問なのですが、CS委員で「教育フォーラムをやしましょう」ということで始めて15回目ということでしょうか。

(教 育 長) 最初は、大玉村にCSという仕組みを取り入れようということになった時に、「CSって何なの？」ということを教職員も保護者、地域住民も思っていた状況でした。

まずは、村内の皆さんに理解していただく目的で地域への啓発活動をメインに、教職員についてはCSを勉強する機会としていたので、初期はCSに先進的に取り組んでいる所の方だったり、研究をしている大学の先生だったりをお招きして具体的な形で研修をしていました。

そして、だんだんと「大玉村らしいCSの形はどうしたらいいのか」となった時に、学術的な意味とか理論的とかではなくて、主体となっている我々自身が話し合う等、いい方法をつくっていけないいいということでやり方を変えて、会長から先程もあったように、「皆が参加しやすく楽しみながら話ができる」意味で「広場」という名称になったということです。以前については、「とにかくCSを皆に分かってほしい」ということでこの教育フォーラムを実施したり、各地を回って説明したりしていたのですが、そういった意味の役割は終えたのかなとも思っています。

(座 長) CSが始まる前のことについてもお話しいただきました。

(橋本課長) 歴史を紡いできた15回という名称は残しておいた方がいいのではないかと思います。

(岡 委 員) 毎年子どもたちの発表ということでは、他から来てもらって話を聴く機会をつくってもいいのではないかと思います。今年は発表、次の年は講演とか…。

(座 長) 内容については、その都度CS委員会で話し合っただけで決めることができますので、そのような内容も含むのであれば、フォーラムという文字は残しておいた方がいいということですね。このまま継続するのがいいのかなと思いますが、いかがでしょうか。

(館下副会長) ふつうにタイトルとして表記するのはいいと思います。当日話すときは「…フォーラム」まで言わなくてもいいと思います。

(久保寺校長) 第15回ということは、たぶん私が教諭で大玉中に来たときが第1回目だったと思います。かなり忘れていますが、初めに講演会とか多かったのですが、今から8年くらい前頃に剣友会の小・中学生が活動の発表をして、だんだん子どもたちの発表に変えていこうという流れになったように記憶しています。それが移行していき、コミュニティ広場という名前になっ

たのかなと感じていました。教育フォーラムの趣旨とは違ってはいて、なかなか判断は難しいのですが、変化していったという意味合いも残しておきたいと思います。

(座 長) 歴史もあり、今後私たちが勉強する機会や今の形も残しつつということで、今まで通りということにしたいのですがよろしいでしょうか。

(C S 委員)・・・賛同・・・

(座 長) それでは「(3) 令和6年度各園・各校の幼稚園・学校運営方針について」に移ります。ご移動をお願いします。

(3) 令和5年度各園・各校の幼稚園・学校運営方針について

① 各園・各校の素案についての説明及び熟議(各園・各校ごと)

- 各園・各校ごと(グループ)の進行による… 大山・玉井幼、大玉中、玉井小、大山小



② 全体共有 ※各校・園5分程度(重点事項及び変更点を中心に)

(座 長) それでは、全体共有ということで、来年度の重点項目及び変更点を中心に各校・園の代表の方から説明をお願いします。

ア 大玉中学校

(大玉中学校長 久保寺 徹)

○ まず、来年度の方針についてお話しさせていただきました。教育目標と目指す生徒像についてはまだ達成できてないと感じておりますので、継続していきたいと考えています。

そして、今年度までにはなかったのですが、目指す学校像を「楽しい学校」としたいと思っています。これが私の目指す学校なのですが、ただ「楽しい」と言っても、「あはは」「おほほ」といった楽しさではなくて、「分かる・できる授業をベースに、魅力と必要性の高い学校」、「生徒が楽しいと感じ、教職員がやりがいを感じられる学校」を意味します。実は今年度私が着任してから、「こんなふうにしたい」と職員にじわじわ言ってきたわけなのですが、それを来年度に向けて目指す学校像ということで明確にしたいと考えています。

○ 教育目標を達成するための基本方針として、「大玉ならではの教育」、「教員としての覚悟」等についてお話をさせていただきました。大玉中担当のCS委員さんが本日2名しかいらっしゃらなかったのですが、ご感想、ご意見をいただきました。(以下に記述)

今の子どもたちの状況として、人間関係が弱いことが挙げられる。コミュニケーション能力が低かったり、トラブルがあつたりいじめがあつたりする。人との関わり方を教えたり、例えばグループエンカウターの手法を意図的に取り入れる等どこかで教えなければいけないのではないだろうか。今後掲げていく予定の重点事項の中に、「自他のよさを認め合う人権教育と道徳教育の推進～人との関わり方を学ばせ、よりよい集団作りを積極的に行うことのできる生徒の育成～」があるが、そういった所にちょっと力を入れてもいいのではないかな。

(全国学力調査の結果) 学力向上に向けて、これからはICT教育や英語教育等に力を入れていかなければならないのではないかな。そのためには教師の質の向上も必要だが、ただ質の向上と言っても難しいので、教師の負担を減らしながら、教師が学ぶ時間を確保できるようなことを考えてはどうか。

○ 令和6年度の学校経営ビジョンは現在作成中です。今日の話をもとに参考にしていただきながら練っていきたいと考えております。



Ⅰ 大山小学校

(大山小学校長 齋藤 和久)

○ 大きなテーマとして、「保護者に学校のことを理解してもらうこと」を挙げました。もともと本校の教職員は、

子どものことを一生懸命考え、個々に対する深い思いも持っています。保護者も思いは同じだと思いますので、互いに共通理解をした上で学校が教育活動に取り組んでいけるような姿を目指していきたいです。

○ 一つ目は学習面についてです。今年は先生方にも自分自身の授業をやるのにワクワクするような構想(「楽しい授業」の実践)を考えてもらいたいと言ってきました。今年算数オリンピックで金メダルをとった子がいるのですが、日々の努力が素晴らしく、保護者の方も粘り強く励ましているということです。そのお話を伺い、「今日の授業は楽しかった」の一つ上の「自分が目標としているものにたどり着いた達成感・充実感」、「私も負けられないという気持ち」等を来年度は目指したいと思っています。そのためには家庭の協力も必要になってくるわけです。

○ 2つ目はあいさつについてです。「されてうれしいあいさつ」から「してうれしいあいさつ」への質の転換を継続していきたいと思っています。今年1年間を見て、大山小の子どもたちには忍耐力、がまん強さ、粘り強さとかの力をもっとつけたいなと思っています。本校の子どもたちはとてもかわいいのですが、やはり「個々の勢い」という点では玉井小さんにまけているなと思っています。「いい人」で終わってはいけないなと…。また、「かわいいからOK」というのはちょっと違うなと思っています。自信を持って玉井の子どもたちにも「自分たちは大山だ。なんか文句あるか!」くらいの勢いのある子に育てていきたいと考えています。大山小の子どもたちはちょっとおとなしいところがあるので、前向きな気持ちや力強さをアップさせていきたいなと思っています。

○ 3つ目は心身のことです。心身については、基本に立ち返って生活習慣の見直しをすべきだと思います。セルフコントロールを自分できちんとする。勉強前等のゲームの時間についても、自分で「そろそろやめよう」とか「そろそろ手伝いをしないとまずいな」とか、そういうふうになれる

判断力を身に付けさせたいと思っています。仮にできなくても、基礎を小学校の時に身に付けて中学校に送り出せば、高校、大学、就職にもつながっていくのではないかと思います。

○ 今話した「学ぶ楽しさ」、「忍耐力」、「生活習慣」については、いずれもご家庭の協力が必要です。学校でいくら言ってもご家庭の協力なしには絶対にできないんですよね。そういう意味でも、学校のねらいとか意図とか育てたい姿を保護者の方と共有できるように何らかの行事をやりたいと思っています。(今年度は創立150周年記念行事としてのり巻き作りを行った。それをきっかけに家で親子一緒にのり巻きを作ってみたとか海に興味を持ったとか等広がれば良いと考えた。)

CS委員さんからは、親と子が一緒に取り組むことは価値がある大事なことであること、また、変えようと思ったら、保護者の意識を変えることが大切なのでとても良いというご意見をいただきました。今後計画を立てていきたいと思っています。

ウ 玉井小学校

(玉井小学校長 佐藤 則之)

○ 来年度の学校経営について考える際に、3年半程コロナ禍で子どもたちが過ごしてきたということとをふり返る必要があると思っていました。

学校現場はこのコロナ禍で「どうしたらいいんだろうか」と毎日悩みながら過ごしてきたのですが、そこで学んだことは、「学校の教育活動は何のためにやっているのか」ということに立ち返り精査することが大切だということです。「毎年やっているから」ではなくて、「何のために行うのか」が大事だということです。(ちなみに地区や県が変わると、学習発表会をやっていないところもあります。) 私たちは、学校がこうであるのは当たり前と思っていて、その当たり前に流されています。どんなふうにするか(方法)に目がいき過ぎがちで、何のためにやるか(目的)が不明確であるということです。それが認識の甘さにつながり、コロナ禍で見えてきた学校の弱みだったなと思っています。目的意識を明確にしないままに「例年通り」とか「教育委員会がこう言っているから」とかやっていたのでは通用しなくなるというのが今回のコロナ禍なんですね。そして、通用しなくなった時に求められるのが、学校サイド・学校管理の私たち自身の主体的判断とか思考であったということです。

これらを踏まえると、学校で行っている授業だけではなく、様々な行事・教育活動のねらいが明確に分かっていないと、ただやって終わってしまう危険性があると思っています。

○ 来年度、ぜひ本校で大事にしていきたいと思っていることは、「子どもたちの主体性・自主性を育むこと」です。

子どもたちにやらされ感がある限りは、自分から進んで勉強することも、友だちと一緒に学んでいくことも、自分の体に気を配ることもできないのではないかと思います。あくまで「言われたから…」、そんなふうになってしまうと、自分事として捉える力を育むことはできないだろうと思っています。来年度は、子ども自身も「教えてもらう・伝えてもらう学び」から「自分は参加しているんだという参加感ある主体的な学び」に発展できるよう注力していきたいです。また、私たち教職員も全部自分が仕切ろうせず、思い切って子どもたちに委ねたり、任せたりする活動があるそんな指導に転化していく必要があるというふうに説明させていただきました。

○ 来年度も本校の教育目標は「自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども」です。今年の漢字一字が「挑」で、年明けにまた新たな漢字が決定します。それを参考にしながら、来年度の教育課程を編成していきたいと思っています。(前にも述べましたが) 目的意識を明確にすること、自分事として子どもたちが捉えられるようにしていくこと、学校にとどまらず地域や保護者に早めにお知らせしていくこと等が大事というアドバイスを頂戴しましたので、今後工夫していきたいと思っています。

○ 幼小連携にもう少し力を入れたいと思います。「〇月〇日〇学年が訪問して活動する」だけではなくて、幼小の担任同士がもっとコミュニケーションをとって、「今度〇〇の時間に〇年が行っていいですか」等行き来する回数を増やしていくと、幼稚園の子どもたちの様子を小学校の教職員もしつかりと見ることができて、1年生を迎える時にあまり子ども扱いしないようにすることができるの

かなと思っています。

小学校の反省点として、入学してきた1年生を赤ちゃん扱いするところがあることが挙げられます。「お掃除できないよね」「3階に1年生だけで行けないよね」等）年長の子どもの姿を見ていたら、いろんなことができるということが分かりますので、幼小連携を充実させていきたいと思っています。

＜今後の課題として＞

- 教職員の職場環境を変えていく必要があること
- 子どもの下校時刻 … 6年生が6校時までやると下校時刻が16時になる。教職員の退勤時刻が16時半であるので様々な支障が出ている。下校時刻を早められないか検討中。

エ 大山幼稚園

（大山幼稚園副園長 二瓶 博子）

- 現在の子どもの姿から「育てたい姿」、「育てなければならない姿」について話し合いました。

3, 4, 5歳に共通することは言葉での伝え方です。来年度は、それぞれの年齢の言葉についての育てたい姿を明確にしたいと思っています。

- やる前から諦めてしまったり、「できなそうだからもうやらない」と初めから諦めてしまう姿が年中、年長の子どもたちにも見られます。「やってみたらできた」という積み重ねがすごく大事なので、失敗しても伸び伸びやらせてみるということを保護者に知らせていく必要があると思いました。

- 保護者を育てていくということについて、先程CS委員の方からもご意見をいただきました。例えば、子どもががまんできずに泣いてる時に、泣かせないためにあれこれ与えるのではなくて、がまんすることも練習が必要だということを親にも知らせていく、そういうことも大事なんだというお話をいただいたので、そのあたりも保護者に伝えていかなければならないと実感しました。

- 幼稚園の場合は基本的な生活習慣が中心で、生活アンケートでも「言葉づかいがよくない」、「後片付けができない」、「すすんで手伝いをしていない」等の内容がたくさんありました。親に知らせていくのは大事だと分かっているけど、そこが難しく悩んでいます。

個別懇談をしていて、保護者から「言葉づかいが気になるんですけども、幼稚園では教えてくれていますか。」とか「私の言うことをきかないので、先生の方から教えてください。」と言われる時があり、具体的にこんなふうにしてみたらどうかというアドバイスをしないといけないことも多くあります。先生たちは、ずっと子どもと接して教えているので、こんなふうにすれば子どもたちは育っていくということが分かります。保護者の中には初めてのお子さんもあるし、なかなかそこが理解できない人もいますので、より分かりやすく教えていきたいと思っています。親育てについては、重要であるので来年度も取り入れていかなければならないと思っています。

オ 玉井幼稚園

（玉井幼稚園副園長 後藤 弥和子）

教職員と子どもの姿の部分を話し合ったのですが、まずは来年度も基本的な生活習慣の確立が一番の基本なので大事にしていくということになりました。

- 3歳から幼稚園に来ているので、排泄の自立、スプーン・フォーク・はしの持ち方等についても大切に指導していくことを確認しました。大山幼稚園の発表にもあったように、保護者から「はしの持ち方なんですけれども、幼稚園で教えてくれてるんですよね。」という声もあります。基本的なところは幼稚園と家庭で一緒に教えていければいいと思いますので、具体的にどういうふうにするかについても丁寧に伝えていきたいです。

- 言葉で自分の気持ちを伝えたり、困ったことを伝える力も基本になってくると思いますので、そこも大事に育てていきたいなと思います。

- 小学校でもあったように、自分で考える力（自主性、主体性、判断力）、自分をコントロールする力についても大切にしていきたいです。

- 子どもの普段の様子を見ると、絵本があっても平気で踏んでしまう姿もあるので、物を大切にすることも大事にしていきたいです。

○子どもに失敗をさせたくないという保護者もいて、失敗させたくないから先取りをしてしまうところもあります。そういうことがやる前から諦めてしまい、「できないからやらない」という姿につながっていくので、「じゃあ、どうしたらいいのかな？」等働きかけ、チャレンジしていく気持ちや諦めない気持ちを育てていきたいです。また、こんなふうにしていくと効果的だということを具体的に知らせていくようにしたいと思います。

幼稚園は家庭と一緒に同じ方向性で進めていくことが大事になってきます。具体的にお知らせしながら教育活動を推進していきたいと思っています。

③ それぞれの各校・園に対する質疑応答

(座 長) 各校・園から只今発表がございましたが、これに関して皆さんから何か質問等がございますか。親育てという言葉が副園長先生からお聞きし、なるほどなと思いました。難しい問題なのかなと思う反面、そうだなと思いました。

(田邊委員) 今年小学校は創立150周年を迎えます。地域に密着している小学校なので、そのことやお祝いしたこと等を地域にお知らせしたらどうなのかなと思うのですが、いかがでしょうか



(座 長) 大山小の齋藤校長先生いかがですか。

(齋藤校長) 去年の歴代PTA会長会で話し合った際には、記念誌を大山地区全戸に配布する予定でしたが、予算の関係上難しくなり、在校生プラス地域の主な施設に配布できる量の部数に変更になってしまいました。ぜひその際にご覧いただければと思います。

(座 長) 学校のホームページで見ることできます。

(田邊委員) 地域の人は分かっていないことが多いので、「〇〇をご覧ください」というお知らせ等があると、より地域に根ざした小学校になるのではないかと思います。

(座 長) 今後の課題として考えられますね。いろんなものを活用して、皆さんに周知徹底していただきたいと思います。その他何かございますか。・・・(特にない様子)・・・

これで協議は終了します。皆さん、ご協力ありがとうございました。

6 その他

- 学校関係者評価研修会開催の予定 1月下旬

7 閉会のことば

(CS委員会副会長 館下 愛理)

みなさん、長時間お疲れさまでした。今年最後ということで、良いお年をお迎えください。これで、第7回おおたま学園CS委員会を終わります。ありがとうございました。